

議案第 10 号

岡山県市町村総合事務組合職員の分限に
関する条例の一部改正

岡山県市町村総合事務組合職員の分限に関する条例の一部改正について、別紙のとおり提出する。

令和 7 年 3 月 28 日提出

岡山県市町村総合事務組合

管理者 山 崎 親 男

〔提案理由〕

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律（令和4年法律第68号）の施行に伴い、所要の改正を行う必要がある。

これが、この議案を提出する理由である。

岡山市町村総合事務組合職員の分限に関する条例の一部を改正する条例

岡山市町村総合事務組合職員の分限に関する条例（平成 17 年岡山市町村総合事務組合条例第 11 号）の一部を次のように改正する。

第 7 条第 1 項中「禁錮」を「拘禁刑」に改める。

附 則

この条例は、令和 7 年 6 月 1 日から施行する。

岡山市町村総合事務組合職員の分限に関する条例の一部改正新旧対照表

新	旧
<p>(失職の特例)</p> <p>第7条 管理者は、公務遂行中又は通勤途上の交通事故により<u>拘禁刑</u>以上の刑に処せられた職員で、その刑の執行を猶予されたものについては、情状を考慮して特に必要があると認めるときは、その職を失わないものとするができる。</p> <p>2 略</p>	<p>(失職の特例)</p> <p>第7条 管理者は、公務遂行中又は通勤途上の交通事故により<u>禁錮</u>以上の刑に処せられた職員で、その刑の執行を猶予されたものについては、情状を考慮して特に必要があると認めるときは、その職を失わないものとするができる。</p> <p>2 略</p>